

取扱説明書




DUAL DIAPHRAGM CONDENSER MICROPHONE B-2 PRO


Gold-Sputtered Large Dual-Diaphragm Studio
Condenser Microphone


JP


JP 安全にお使いいただくために





注意
 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。


注意
 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。


注意
 このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
 コンデンサー型マイクは湿気に対して非常に敏感です。このタイプのマイクは絶対に湿気の高い場所(浴槽、洗面台、流し台、洗濯機、プールなど)のそばで使用しないでください。ボーカルレコーディングの際にはマイクの内部機構を水分から保護するために、必ず付属のポップシールドを使用してください。

注意
 本装置は取扱説明書に記載されている供給電源でのみ使用可能です。

注意
 マイクの落下にはくれぐれもご注意ください。重大な損傷の原因となる場合があります。お客様の過失による損傷は保証の対象とはなりません。

注意
 使用後には必ずマイクをマイクソケットから取り外し、柔らかい布で拭いた後に付属のケースに格納して下さい。この際、乾燥剤の入った袋をマイクの頭部に並べてケースに入れるのを忘れないでください。

注意
 マイクのカートリッジの周りの金網部は絶対に取り外さないでください。マイクの損傷の恐れがあります。また、B-2 PRO の基盤の改造等を行なわない下さい。このような改造によって修理不可能な故障が生じた場合には保証は無効となります。

限定保証

ご購入後は、新しい BEHRINGER 機器をぜひご登録ください。
<http://behringer.com> にアクセスして、保証条件をご確認ください。

1. ファントム電源の供給

コンデンサーマイクの使用には +48V のファントム電源が必要です。異常のあるファントム電源の使用に伴う B-2 PRO の損傷には当社では一切の責任を持ちません。ファントム電源の投入事には再生機器をミュートに切替えて下さい。B-2 PRO は電源の投入後、安定するまでに約 6 秒を必要とします。

2. 指向特性

B-2 PRO は、フロント部のスイッチによりカーディオイド、球形、あるいは 8 の字型の 指向特性に切り替えることが可能です。音源だけではなく背景音も必要な場合は 球形特性 (スイッチ 位置: 左) を、特定の音源あるいは 1 つだけの音源をお望みの場合は カードィオイド特性 (位置: 右) をお勧めいたします。8 の字型特性 (位置: 中央) は、例えばコーラス等の録音に適しており、背景音は球形特性の場合よりも強調されて ビックアップされます。

3. ローカットフィルターおよび レベルカット

ローカットフィルターは、マイク後部左側スイッチで作動します。このスイッチをオンに切り替えると、ポップノイズのような低音ノイズをカットすることが可能です。ローカットフィルターがオンになっている状態では近距離での集音の際の周波数特性は線形です。高音ノイズに対する感度は、内部シールド機構によって最低レベルまでカットされます。

後部右側のスイッチで、-10 dB のレベルカットが作動します。このレベルカットスイッチはベースドラムなど、高い音圧を伴う衝撃音声の集音の際などに役立つことでしょう。このスイッチが中央位置にある場合にはこれらの機能は双方ともにオフに切り替えられています。

4. マイクおよびマイクソケットの設置方法

付属のマイクソケットをマイクスタンドに固定します。正しい位置が見つかったら、固定ネジを締めます。ソケットの内部にある 2 つの円弧状のレバーを内側に向けて押すと、ソケットが開き、B-2 PRO をソケットの上部から押し込むことができます。

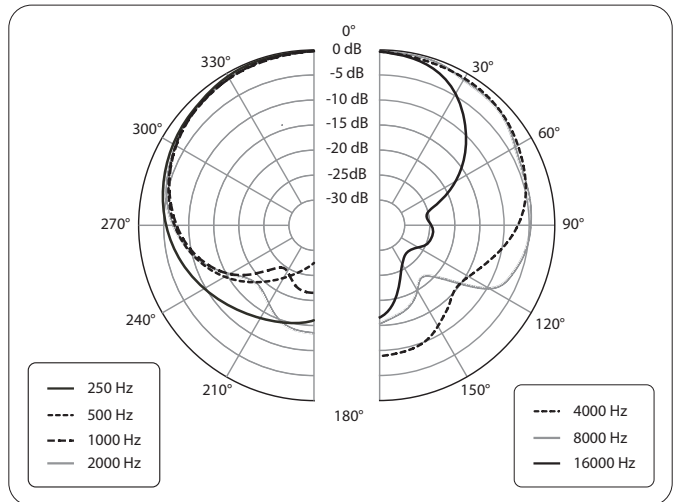
5. オーディオ接続

B-2 PRO の接続にはバランス型の XLR マイクロフォンケーブルを使用してください (ピン構成は以下の通り): Pin 1 = Shield、Pin 2 = +、Pin 3 = -。B-2 PRO の全ての接点は金めっき加工されているため、ケーブル側にも金めっきコネクタの使用をお奨めします。

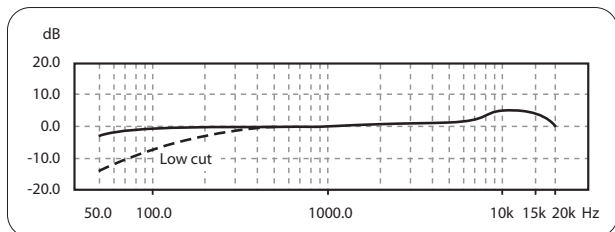
6. 音量調整 / 基本音声の設定

ミキサーのマイクチャンネルに設けられたゲイン・コントローラーを、ピーク LED が全く点灯しないか、ごくまれに点灯する程度に調整します。マイクチャンネルの EQ コントローラーは最初野状態では中央位置に設定しておきます。ローカットフィルターおよびレベルカットはオフにします。好みの音声が発生するようにマイクを移動させます。この際には球形およびカーディオイド特性の双方をお試し下さい (第 3 章を参照のこと)。また、音源に対してさまざまな角度に防音壁を設置することも理想の音声の発生に役立つことでしょう。イコライザーやシグナル・プロセッサは基本音声希望の状態に調整されてから必要に応じて接続します。

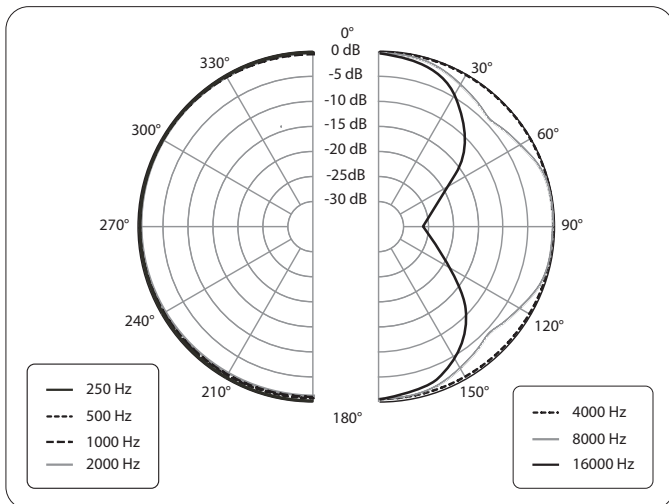
B-2 PRO では約 12 kHz 付近でレベルのブーストが行われます。このような強調によって、音声に過大な影響を与え、ノイズ信号を不必要に増幅する高周波域のイコライザー投入が必要になります。ミックスや録音の際に失われがちな音声の透明度はこれによって保たれることとなります。



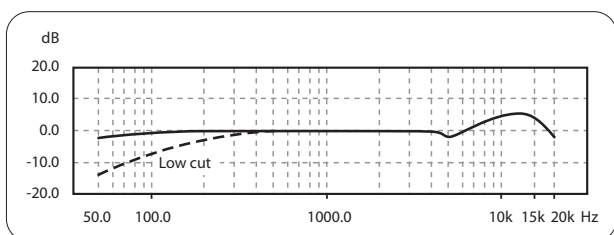
極特性線図



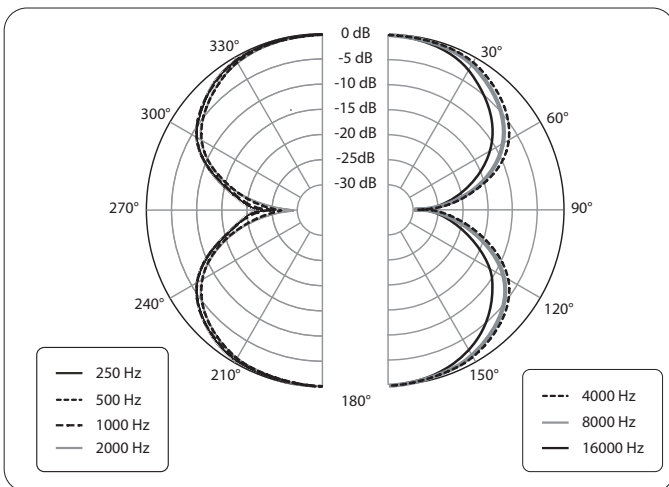
カーディオイド特性時の周波数特性



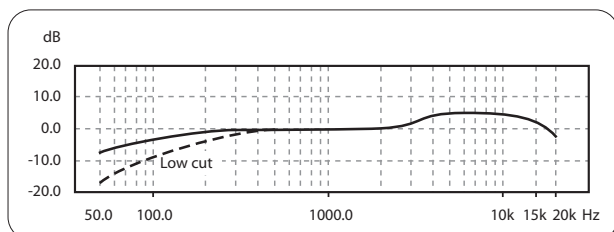
極特性線図



球形特性時の周波数特性



極特性線図



8の字型指向特性

7. 技術仕様

コンバーター形式	コンデンサー、1" デュアルダイヤフラム
作動方式	音圧変換型
基本特性	カーディオイド、球形、そして 8 の字型指向特性
コネクター	バランス型 XLR コネクター (金めっき)

オープンサーキット感度 (1 kHz のとき)

カーディオイド	-36 dBV (0 dBV = 1 V/Pa), 16 mV/Pa
球形	-37 dBV (0 dBV = 1 V/Pa), 14 mV/Pa
そして 8 の字型指向特性	-35 dBV (0 dBV = 1 V/Pa), 18 mV/Pa
周波数特性	20 Hz - 20 kHz
レベルカット	-10 dB (オン・オフ切替え可能)
ロー・カット・フィルター	6 dB/Octave (150 Hz で、オン・オフ可能)

最大入力音圧 (1% THD @ 1 kHz)

カーディオイド	138 dB (0 dB), 148 dB (-10 dB)
球形	139 dB (0 dB), 149 dB (-10 dB)
そして 8 の字型指向特性	137 dB (0 dB), 147 dB (-10 dB)

等価音圧 (IEC 651 による)

カーディオイド	17 dB-A
球形	18 dB-A
そして 8 の字型指向特性	16 dB-A

S/N 比

カーディオイド	A-weighted 77 dB
球形	A-weighted 76 dB
そして 8 の字型指向特性	A-weighted 78 dB

定格インピーダンス <math>< 100 \Omega</math>

出カインピーダンス >1 k Ω

動作電圧 +48 V

消費電流 3 mA

寸法 \emptyset 金網部: 56 mm、 \emptyset 胴部: 50 mm、長さ: 210 mm

重量: 約 0.55 kg



We Hear You